

【産地報告】

岡山県瀬戸内市前島で見出されたコゴメスゲ (カヤツリグサ科)

および岡山県内での分布

矢野興一^{1,*}・鐵 慎太郎²・首藤光太郎³

¹岡山理科大学生物地球学部 〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町 1-1;

²倉敷市立自然史博物館 〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2-6-1;

³北海道大学総合博物館 〒060-0810 北海道札幌市北区北 10 条西 8 丁目)

Okihito YANO^{1,*}, Shintaro TETSU² and Kohtaroh SHUTOH³: A new record of *Carex brunnea* (Cyperaceae) from the Maejima Island in Setouchi-shi and its distribution of Okayama Prefecture, Japan

¹Faculty of Biosphere-Geosphere Science, Okayama University of Science, Ridai-cho 1-1, Kita-ku, Okayama-shi, Okayama 700-0005, JAPAN; ²Kurashiki Museum of Natural History, Chuo 2-6-1, Kurashiki-shi, Okayama 710-0046, JAPAN; ³The Hokkaido University Museum, Hokkaido University, Kita 10 Nishi 8, Kita-ku, Sapporo, Hokkaido 060-0810, JAPAN)

*Corresponding author: oki.yano@gmail.com

(2024 年 7 月 15 日 受理)

Abstract:

Carex brunnea Thunb. (Cyperaceae) is distributed in Honshu (westward from southern part of Kanto District), Shikoku, Kyushu, and the Nansei Islands in Japan. In Okayama Prefecture, it grows in restricted areas, and only 12 specimens had been collected from this prefecture. In 2023, we found this species from the Maejima Island, which represents the first locality in Setouchi-shi and islands within Okayama Prefecture.

はじめに

コゴメスゲ (コゴメナキリスゲ) *Carex brunnea* Thunb. (カヤツリグサ科) は、平地から低山帯の疎林内や草地に生育する多年生草本で、関東南部以西の本州、四国、九州、南西諸島に分布する (勝山 2015)。岡山県における本種の分布については、『岡山県産スゲ属植物図譜』 (星野ほか 2002) では「県内で採集された標本は少ない」とされており、『日本産スゲ属植物分布図集』 (すげの会 2018) によると、現在の岡山市、高梁市、備前市、和気郡から採取された 11 点 12 枚の標本記録がある。したがって、岡山県内での本種の産地は限られているようである。

著者らは 2023 年 10 月に岡山県南部の瀬戸内海に位置する前島 (瀬戸内市牛窓町) において、本種が生育しているのを見出した。そこで、前島におけるコゴメスゲの生育状況と、発見に伴って更新した岡山県内の本種の分布についての考察もあわせて、ここに報告する。



図 1. 前島のコゴメスゲとナキリスゲ. **A:** 生育地. コゴメスゲは右側の路肩に生育していた (矢印). **B:** コゴメスゲの全草. **C:** コゴメスゲの花序. **D:** ほぼ同所的に生育していたナキリスゲの花序. **A~D:** 2023 年 10 月 29 日撮影. **E:** コゴメスゲの果胞 (O. Yano & K. Shutoh no. 23102901, OKAY). **F:** ナキリスゲの果胞 (O. Yano & K. Shutoh no. 23102902, OKAY). スケールバーは 1 mm.

前島のコゴメスゲ

著者らは2023年10月28日と29日に前島を訪れたところ、島内の1箇所でコゴメスゲが生育しているのを確認した(図1)。コゴメスゲは、日当たりの良い道路脇の側溝や林縁、草地の一角に約20株ほど生育していた(図1A, B, C)。一方、道路を挟んで反対側の路肩の林縁や草地あるいは少し離れた同じ道路側の路肩には、ナキリスゲ *Carex lenta* D. Don が多数生育していた(図1D)。両種は混合して生育しているわけではなかったが、島内での生育環境に大きな差異は見られなかった。

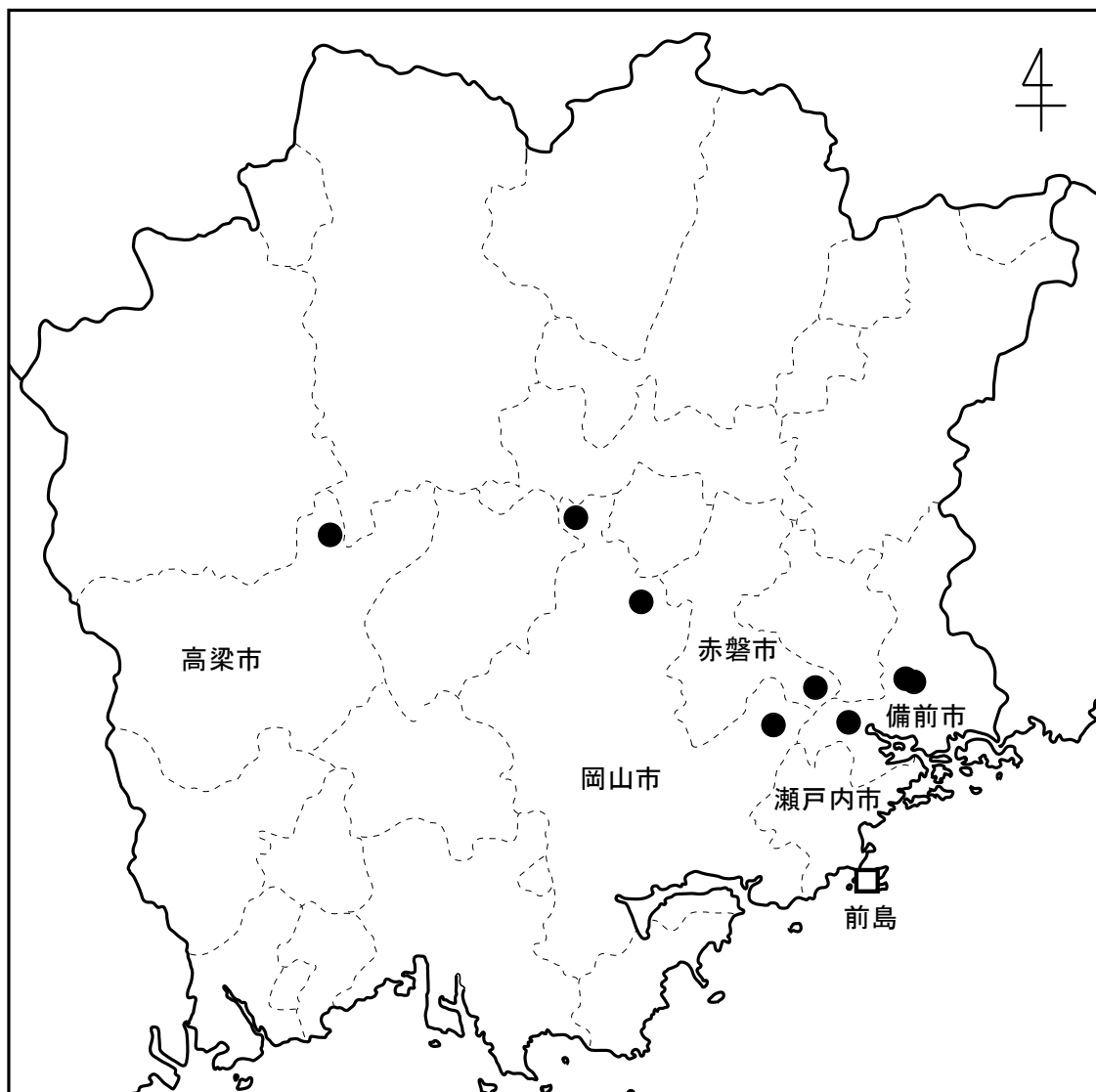


図2. 岡山県におけるコゴメスゲの分布. □: 前島のコゴメスゲ. ●: OKAY および KURA に収蔵されている岡山県産のコゴメスゲ標本

岡山県内の分布

『日本産スゲ属植物分布図集』(すげの会 2018)に基づくと、これまでに本種は県の中部から南部にかけて分布し、特に、県南東部の備前市からの標本記録が多くあった(図2)。

さらに、すげの会 (2018) は、コゴメスゲが兵庫県や広島県の瀬戸内海の島嶼部にも分布していることも示している。なお、岡山理科大学植物標本庫 (OKAY) および倉敷市立自然史博物館 (KURA) に収蔵されているコゴメスゲの標本を確認し、岡山県内での分布の詳細を再検討したところ、すげの会 (2018) が報告した岡山県和気郡 (片山久 no. 8453, 24 Aug. 1997, OKAY) のコゴメスゲとされた標本は、オオナキリスゲ *Carex autumnalis* Ohwi の誤同定であった。

コゴメスゲの分布記録は、備前市に隣接する瀬戸内市からはこれまでなく、また岡山県内の島嶼部から採集された標本もこれまでなかった。したがって、今回、前島から見出されたコゴメスゲは瀬戸内市および岡山県内の島嶼部からの初めての報告と考えられる。

コゴメスゲは一見ナキリスゲに似ており、星野ほか (2002) は、「コゴメスゲはナキリスゲの標本に混じって収蔵されている可能性もある」としている。また、ナキリスゲは岡山県内全域に広く分布している (星野ほか 2002, すげの会 2018) ことから、両種は混同され、コゴメスゲの生育が見過ごされている可能性がある。実際、前島において、ナキリスゲとコゴメスゲはほぼ同所的に生育していたが、島内でのナキリスゲの個体数や生育地はコゴメスゲよりも圧倒的に多かったために、コゴメスゲの生育が見過ごされてきたのかも知れない。しかし、コゴメスゲはナキリスゲに比べ、1 節から出る小穂の数がやや多く (図 1C & D)、果胞が小さく、細脈が多く、短毛がまばらである点 (図 1E & F) などで区別される (勝山 2015)。したがって、注意深く観察すれば野外でも識別でき、岡山県南部でのさらなるコゴメスゲの自生地が見出される可能性がある。

証拠標本

証拠標本は岡山理科大学植物標本庫 (OKAY)、北海道大学総合博物館陸上植物標本庫 (SAPS)、倉敷市立自然史博物館 (KURA) に収蔵されている。

コゴメスゲ *Carex brunnea* Thunb.

岡山県. 瀬戸内市牛窓町前島 (K. Shutoh, S. Tetsu & O. Yano no. 6300, 28 Oct. 2023, OKAY, SAPS074316; S. Tetsu, K. Shutoh & O. Yano no. TK913, 28 Oct. 2023, KURA-255620; O. Yano & K. Shutoh no. 23102901, 29 Oct. 2023, OKAY).

ナキリスゲ *Carex lenta* D. Don

岡山県. 瀬戸内市牛窓町前島 (K. Shutoh, S. Tetsu & O. Yano no. 6304, 28 Oct. 2023, OKAY, SAPS074317; S. Tetsu, K. Shutoh & O. Yano no. TK914, 28 Oct. 2023, KURA-255621; O. Yano & K. Shutoh no. 23102902, 29 Oct. 2023, OKAY).

確認標本

OKAY および KURA に収蔵されている岡山県産の標本を採集地、採集者、採集者番号、採集年月日、機関略号および登録番号 (登録番号がある場合のみ) の順に示した。採集地は現在の市町村名で示し、[] で標本ラベルに記載されている旧市町村名を示した。

コゴメスゲ *Carex brunnea* Thunb.

岡山県. 備前市閑谷 (片山久 no. 18737, 5 Nov. 2005, KURA-155987, OKAY; 片山久 no. 18738, 2005 5 Nov. OKAY; 小畠裕子・片山久・溝手啓子 no. 22273, 7 Dec. 2005, KURA-157336; 片山久 no. 19023, 7 Dec. 2005, KURA-190380, OKAY). 備前市 [閑谷] 香登本 (片山久 no. 18930, 24 Nov. 2005, OKAY). 赤磐市熊山町奥吉原 (片山久 no. 26498, 26 Mar. 2011, KURA-182353). 岡山市東区 [赤磐郡] 瀬戸町江尻 (片山久 no. 18903, 23 Nov. 2005, OKAY). 岡山市北区建部町和田南 (片山久 no. 20730, 5 Mar. 2009, OKAY). 岡山市北区 [御津郡] 建部町土師方 (片山久 no. 3279, 21 Mar. 1995, KURA-168048). 高梁市中井町西方 (片山久 no. 18884, 19 Nov. 2005, KURA-163428, OKAY).

謝辞

本研究の一部は JSPS 科研費 (22K05697, 研究代表者 矢野興一) の助成を受けて行いました。

参考文献

- 星野卓二・正木智美・西本真理子 2002. 岡山県カヤツリグサ科植物図譜 (I). 岡山県スゲ属図譜. 229 pp. 山陽新聞社, 岡山.
- 勝山輝男 2015. 日本のスゲ 増補改訂. 391 pp. 文一総合出版, 東京.
- すげの会 2018. 正木智美 (編), 日本産スゲ属植物分布図集. 766 pp. すげの会, 岡山.